

近藤栄次郎

下関北九州道路の早期実現とありますが、人工島同様、不要な大型公共事業であることは明らかではないでしょうか。自民党政府ですら、第2関門橋など、海峡横断プロジェクトは不要、不急として調査を打ち切りましたが、なぜ復活を目指すのですか。それとも別物の道路計画と言われるのですか。また、新年度予算で市は何を行おうとしているのですか、お答えください。

市長（中尾智昭）

次に第2関門橋など、海峡横断プロジェクトの件ですが、なぜ復活を目指すかということで、この第2関門橋海峡横断プロジェクトは、現在その名前は使っておりません。新たな名前は、下関北九州道路であります。この下関北九州道路は、下関市と北九州市を直結するとともに、既存の関門橋及び関門国道トンネルとの道路ネットワークを形成することにより、地域間の連携や日常的な交流を促進し、関門都市圏の発展を支える極めて重要な都市間連絡道路と考えております。また、既存の関門国道トンネルは築後56年、関門橋は41年を経過していることを踏まえて、大規模災害時や改修時などにおける代替性の確保の観点などからも重要な道路と考えております。

なお、当該道路の整備によるさまざまな効果についての調査及び分析を継続的に行っており、平成27年度も引き続き調査、分析を行う予定としております。今後も関係各市や関係県市や民間団体とも連携しながら、早期実現を目指していきたいと考えております。